

経営比較分析表（令和4年度決算）

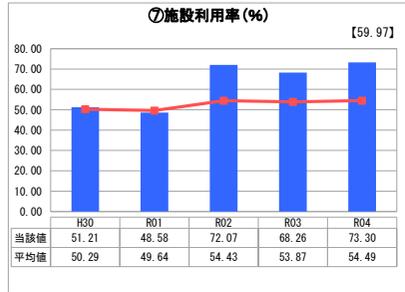
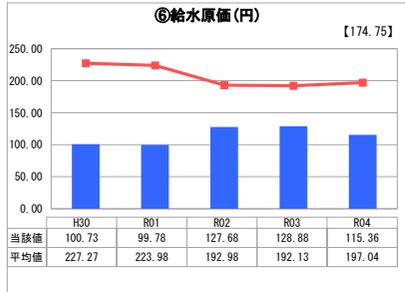
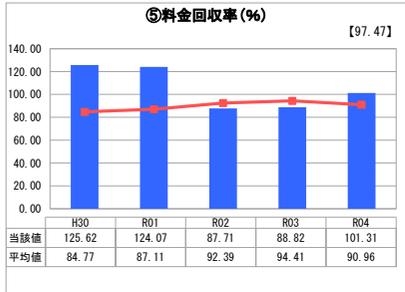
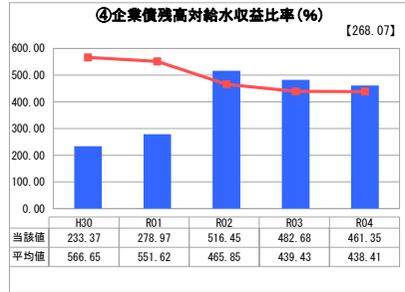
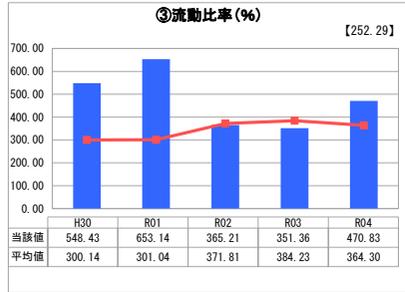
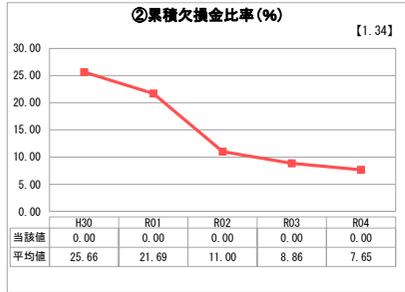
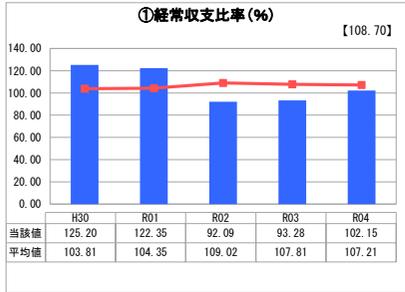
和歌山県 みなべ町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	76.60	99.87	1,699	

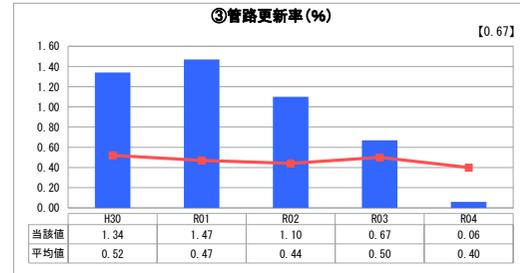
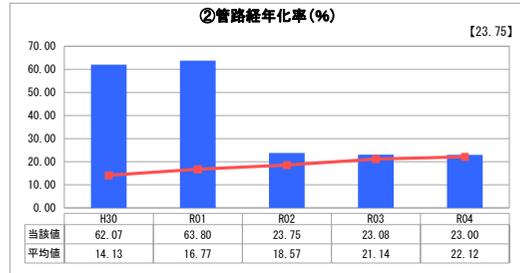
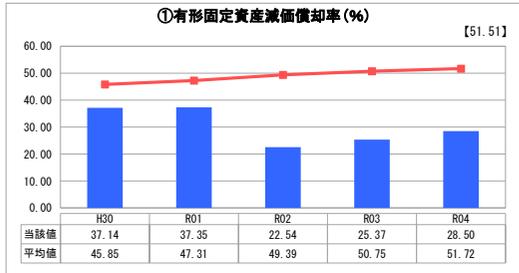
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,988	120.28	99.67
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
11,971	30.40	393.78

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度の経常収支比率は類似団体より下回ったが令和3年度より近い値へ上昇した。施設利用率、有収率は類似団体より上回り、施設は有効に稼働していると思われる。
また、料金回収率は令和3年度から上昇し類似団体の値を上回った。
令和4年度では修繕費の支出が抑えられたことによりわずかながら利益が発生した。結果、経常収支比率、料金回収率が令和3年度より上昇したと思われる。
ただし、管路施設の老朽化対策、みなべ浄水場更新事業により、令和5年度以降は厳しい経営状況が続くものと思われる。
経営の基盤を強固にし、安全安心な水を提供し続けるため、住民に水道事業の経営状況を伝えながら、令和6年度中の料金改定を進めているところである。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は類似団体、全国より下回っている。管路経年化率は平成26年度から耐用年数を超える管路が発生し、類似団体、全国を大きく上回っていたが簡易水道事業との統合により、全国平均に並ぶ率となった。
令和4年度は津波浸水区域にあるみなべ浄水場を高台へ移転するため、事業計画に沿って導水管の整備工事を開始したが、みなべ浄水場更新事業を優先し、単独での管路更新工事を控えていたため、令和4年度の管路更新率は大幅に減少し類似団体の値を下回ってしまった。
今後は管路の更新投資を計画的に進める必要がある。そのために資産の更新投資計画を推進していきたいが、改修を要する管路が多く計画を進めるのが難しい状況である。

全体総括

令和4年度でわずかながら利益が発生し、経常収支比率、料金回収率が令和3年度より上昇したものの、経常収支比率は類似団体、全国の数値を下回ったままである。
みなべ浄水場更新事業計画に沿って導水管の整備工事を開始したが、これまで必要な更新投資を先送りしてきた傾向がないとは言えず、他にも町内配水管の老朽化対策など、町内全域の水道事業を俯瞰的に検討していく必要がある。
また、令和6年度中の料金改定については、これからは住民への説明会等を計画し、周知を進めているところである。